



# さいせい



発行  
**済生会西条病院**  
 2015年11月 第68号

西条市朔日市269-1  
 TEL(0897)55-5100



西山興隆寺の紅葉 撮影：医療秘書課 神原 勝巳

**ごあいさつ**

院長 岡田 眞一

**きびしい冬は心臓にもきびしい**

循環器内科 金子 伸吾

**感染症を予防しましょう**

看護師 横畑 加代子

**J.M.Sを開催しました!**

診療放射線技師 宮田 瑞奈

**市民公開講座を開催しました**

社会福祉課 高橋 行夫

**歯科口腔外科開設のご案内**

**新任医師のご紹介**

**第70回市民公開講座が開催されました**

経営企画室 豊田 浩行

**敬老会にだんじりがキター~!!**

済生会西条老人保健施設いしづち苑  
 介護福祉士 高津 智一

**ごあいさつ**

**院長 岡田 眞一**



院長  
**岡田 眞一**

去る9月27日に、西条市総合文化会館で、『病は「知」で予防、おなかの病気について聞いてみませんか?』というテーマで第70回日本消化器病学会 市民公開講座を開催しました。非常に多くの方々に参加していただき誠にありがとうございます。後日、とても良かったという評価をたくさんいただき大変嬉しく思っています。この会は、「一般市民の方への疾病に対する知識の普及と社会全体への疾病予防」を目的として、日本消化器病学会の主催で行われます。前もって知っていれば、予防できる病気がたくさんあります。見つかった時にはすでに重篤な状態になっていたということがないように、普段から病気の原因や症状などの知識を持って、いつまでも健康な生活が送れるようにしておくことが大事です。

さて11月1日から愛媛大学医学部歯科口腔外科講座の協力により、当院に歯科口腔外科を開設しました。最近では全身疾患と口腔ケアの関係が重要視されています。手術前後の口腔ケアが手術後の併発症を予防すること、高齢者の口腔ケアが嚥下性肺炎を予防することが分かってきました。また糖尿病患者さんは歯周病を併発しており、口腔ケアを行うと血糖コントロールが良くなると言われており、糖尿病と歯周病との関係が注目されています。口腔ケアが病院に入院している患者さんの併発症の予防だけでなく、老人保健施設いしづち苑や西条特別養護老人ホームに入所している高齢者のみなさんの嚥下性肺炎の予防などにつながることを期待しています。

## △ きびしい冬は心臓にもきびしい

循環器内科 金子伸吾

西日本最高峰・石鎚山にはすぐに行けるスキー場がある一方で、冬は西条市内に強い寒さをもたらします。循環器内科という診療科は病院の中で「季節労働者」と言われています。年間を通じて頻度が変わらない、悪性腫瘍や生活習慣病とは違い、「気温の変化」による血圧変動や脱水で起きる「血管疾患」は冬（あるいは盛夏）に多くみられます。

寒くなると、保温効果のため、手足の動脈が細くなり、血圧があがります。逆に、温かいところに行くと、急に手足の血管が開くことで、血圧が下がり意識が遠のくこともあります。

特に暖かい室内から寒い屋外に出たとき、逆に屋外から室内、あるいは入浴時など、温度差が大きなところで、心臓や血管病の発作はおきやすくなります。一番多いのは部屋から外出したとき、胸が痛くなり、心筋梗塞となって救急搬送というパターンです。逆に、入浴中に意識がなくなり救急車で運ばれた方が心筋梗塞であったということもしばしば見受けられます。

ちょっとした動作で胸あるいは、首元や左肩が痛くなる、あるいは疲れやすい、という症状は狭心症の疑いがあります。心臓病は「狭心症」の段階で見つけて治療することで命、あるいは日常生活を守ることができます。「心筋梗塞」になる前に、負荷心電図やエコー検査、場合によっては冠動脈の造影CTを受けられることをお勧めします。当院画像センターでは、冠動脈造影やカテーテル治療を熟知した診療放射線技師がCTを撮影し、画像を合成します。エコーも心臓・血管認定技師が在籍し、「診断から治療まで」全国区で鍛えられたハイレベルな画像診断を実現しています。

症状がおちついており、地域の医療機関（診療所・クリニック）に通院されていらっしゃる方は「地域連携予約」という方法をとっていただけましたら、お待たせする時間、来院する回数いずれも最小限で、ご希望に応じた検査を行うことが可能となります。急激におきる冷や汗をともなった強い胸痛・背部痛は心筋梗塞や、大動脈の病気の疑いがあります。迷わず救急車を呼んでください。

心臓・血管病は、癌と違い命の終焉を迎える覚悟も準備もないままに、突然やってきます。心筋梗塞は多数の方々が命を落とされ、あるいは心不全という後遺症に苦しむこととなります。生活習慣病（糖尿病、高血圧、脂質異常症、ニコチン依存症、肥満）、家族歴は心臓病や血管病のリスクです。もちろん、禁煙、食事・運動療法でこれらの是正を行うことは医療をうける前提条件となりますが、緊急事態になる前に、疑えば検査、見つければ治療ができる時代になりました。

検査はほとんどが外来、治療も特殊な場合を除き、1時間程度の手術と数日の入院で行うことが可能です。もちろん、緊急であっても高いクオリティーの手術は可能ですが、予定手術と緊急手術では手術の内容はもとより、安全性や合併症のリスクも約10倍異なります。早期発見、早期治療を強くおすすめします。かかりつけの先生に相談してください。



済生会西条病院 カテーテルチームスタッフ

# 感染症を予防しましょう

看護師 横 畑 加代子

肌寒くなりインフルエンザ・感染性胃腸炎(ノロウイルスなど)が流行する季節になってきました。これらは毎年流行し注意報・警告が発令されるため流行シーズンに入るとその動向に注意していく必要があります。

これらの感染経路は、咳やくしゃみの際に口から発生する小さな水滴(飛沫)に含まれるウイルスが原因です。そこで飛沫を浴びない、吸入しないようにすれば感染する機会は大きく減少します。しかし家族や学校、病院など集団で人がいる場合、飛沫感染を防ぐことは困難です。また病気にかかっている場合でも全く症状がない場合もあります。

そのため流行シーズンには、「手洗い」「マスク」「うがい」が重要になってきます。そこで、この3点について感染対策のポイントを簡単に説明します。

## 手洗い

- ① インフルエンザなどのウイルスは、低温で空気が乾燥した状態で空気中に2~3時間、環境表面にも12~48時間は感染性を維持します。外出後には必ず手を洗いウイルスを持ち込まないようにしましょう。
- ② 手のひらでくしゃみを受け止めた後、ティッシュで鼻をかんだ後の手にはウイルスがついています。他の物に触れる前に必ず手を洗いましょう。

## マスクの着用と咳エチケット

- ① サージカルマスクを正しく使用すれば、95%以上の細菌やウイルスなどが他の人に飛ぶのを防ぐことができます。咳など風邪症状・発熱のある場合は、鼻・口をきちんと覆いマスクを着用しましょう。また、マスクには様々な種類があります。購入する際には、規格を確認し遮断効果のあるサージカルマスクにしてください。
- ② 咳やくしゃみを他の人に向けて発しないように注意しましょう。

飛沫感染対策は、感染している者がマスクをする方が感染を抑える効果は高いと言われています。流行シーズンには症状の出ない不顕性感染もあります。家族など周囲に感染している人がいる場合にも学校や勤務先でマスクを着用するように心がけましょう。

## うがい

空気が乾燥すると、気道粘膜の防御機能が低下し風邪やインフルエンザにかかりやすくなります。手洗い同様に外出後うがいをしバイ菌を洗い流し、保湿しましょう。

以上、普段から注意して行っていれば感染対策の効果がアップするポイントを説明しました。是非参考にしてください。



## J.M.S(ジャパン・マンモグラフィー・サンデー)を開催しました!

診療放射線技師 宮田 瑞奈

皆さん、J.M.Sをご存じですか? J.M.Sとはジャパン・マンモグラフィー・サンデーの略です。家事、育児、介護、仕事に追われ平日になかなか病院へ行けない女性の方々を対象に全国の医療機関と認定NPO法人J.POSHが協力して毎年10月の第3日曜日に行われています。済生会西条病院でも毎年行われており、今年は10月18日に開催されました。私も診療放射線技師として撮影に携わりました。

最近では、芸能人が毎年検査を受けていたにも関わらず進行した乳がんが発見されたというニュースがありました。私たちも他人事ではありません。食事の欧米化、女性の社会進出による晩婚化などが原因で若い世代の乳がんも増加傾向にあります。そこで、

より多くの女性にマンモグラフィー検査を受けていただき、乳がんの早期発見に繋がればと、我々も強く願っております。

「忙しくて時間がないから・・・」

「身内に乳がんの人はいないから・・・」

「自分に限って乳がんなんて・・・」

そう思っているあなた! 来年も開催予定なので、ぜひJ.M.Sを受けてみてください! また平日にもマンモグラフィー検査は受診できるので、乳房に少しでも違和感がある方は気軽にお越しください! 当院ではマンモグラフィー検査は女性の診療放射線技師が全て対応しています。わからないことや聞きたいことがあれば気軽にお聞きください!



## 市民公開講座を開催しました

社会福祉課 高橋 行夫



今年度第2回目となる済生会西条病院主催の市民公開講座が平成27年10月29日(木)に開催されたので紹介します。

今回は、脳神経外科部長 浦元広先生により「脳卒中について」というテーマで講演を行いました。会場の西条市総合福祉センターには市内各所から86名の方々が詰めかけ熱心に聴講されました。

脳卒中として総称される「脳梗塞」、「脳内出血」、「くも膜下出血」について、発症原因や発症メカニズム、症状等が紹介され、予防や治療の方法について詳しい解説がありました。その中で脳卒中は高血圧や糖尿病などの生活習慣病に起因して発症するリスクが高く、予防には食事や運動など生活習慣の改善が重要とのアドバイスがありました。また発症した場合は、生命の危険とともに、重い後遺症を引き起こし寝たきりとなることが極めて高いことから、

発症から診断、治療へと迅速に対応する必要性が強調されました。

一般的にも脳卒中は深刻な病気と恐れられているだけに、参加者からは「理解が深まった」、「予防に努めたい」など、より身近に受け止める声が多く聞かれました。

市民公開講座は、地域貢献の一環として毎年2回程度を目途に実施しており、地域の中核的な役割を担う当院の重要な活動のひとつとなっています。市民の皆様の健康で安心できる暮らしを支援するため、他の社会福祉事業と併せて、今後も積極的に取り組んでいきたいと考えております。



# 歯科口腔外科開設のご案内

当院は2015年11月1日から歯科口腔外科を開設しました。

地域の先生方と連携を図り、紹介患者さんの歯科治療や口腔外科疾患（埋伏智歯、嚢胞、インプラント、口腔領域の炎症性疾患、粘膜疾患、顎関節症、骨折等）の診療や手術などに積極的に取り組んでまいります。

## ■歯科口腔外科の診療内容

### 1. 紹介状をお持ちの方

原則、かかりつけの先生からの紹介状が必要となります。地域の先生方と密接な連携のもと治療を進めてまいりますのでご相談ください。ただし、救急患者についてはこの限りではありません。

### 2. 周術期の口腔ケア

病院内の歯科としての特性を生かして、院内各

診療科との連携のもと、周術期の口腔ケアに力を入れてまいります。

入院患者さんをはじめ併設施設（老人保健施設、特別養護老人ホーム等）の入所者の口腔ケアについては、歯科衛生士と連携し、誤嚥性肺炎の予防、QOL改善に取り組んでまいります。

### 3. 医療費のお支払でお困りの方への治療

当院では、社会福祉法第2条第3項9号の規定する第2種社会福祉事業として、無料低額診療事業を実施しております。

経済的な理由によって、必要な医療を受ける機会が制限されないよう、済生会としての社会的使命を果たしてまいりますので、社会福祉課の担当者までご相談ください。




■受付時間	8:00~17:00 ※初診受付は、10:30までとなります。					
■診療時間	(午前) 9:00~12:00			(午後) 14:00~17:00		
	月	火	水	木	金	土
午前	田中宏史	田中宏史	田中宏史	田中宏史	田中宏史	田中宏史
	村瀬隆一	—	浜川裕之	—	日野聡史	—
午後	外来小外科手術					—
	周術期口腔ケア					—
<small>※上記内容については、緊急手術、出張等で変更になる場合がございます。予めご了承ください。                  ※初診受付は10:30までとなります。                  ※原則、かかりつけの先生からの紹介状が必要となります。ただし、救急患者についてはこの限りではありません。</small>						
■お問合せ先	社会福祉法人 恩賜財団 済生会西条病院		〒793-0027 愛媛県西条市朔日市269-1 TEL:0897-55-5100(代表) FAX:0897-55-6766 ホームページアドレス <a href="http://www.saiseikaisaijo.jp/">http://www.saiseikaisaijo.jp/</a>			




# 新任医師のご紹介

済生会に加わった新任の医師をご紹介します。みなさん、これからよろしくお願ひします。

- ① 名前
- ② 診療科
- ③ 趣味
- ④ ひと言



① 平松 友佳子 (ひらまつ ゆかこ)  
 ② 眼科  
 ③ 子供と公園、テレビでスポーツ観戦  
 ④ 早く病院に慣れて勤務に励みたいと思います。よろしくお願ひします。

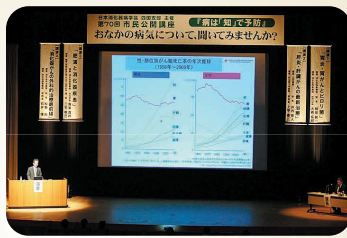


① 田中 宏史 (たなか ひろし)  
 ② 歯科口腔外科  
 ③ サーフィン  
 ④ 東予地区の口腔外科拠点病院となれるよう、日々精進したいと思います。

# 第70回市民公開講座が開催されました

経営企画室 豊田 浩行

9月27日(日)に岡田院長世話人のもと、第70回日本消化器病学会 四国支部主催 市民公開講座『病は「知」で予防、おなかの病気について聞いてみませんか』が西条市総合文化会館にて開催されました。本講座は市民の皆様の健康増進に寄与することを目的としており、以下の4つの講演が行われました。



おなかの病気について、知識のない方にも大変わかりやすい内容で、参加者の皆さまは興味深く聞かれておりました。また、休憩時には当院リハビリテーション科スタッフによる「肩こり体操」が実演され、会場の皆さまも一緒に参加されておりました。最後に、愛媛大学医学部消化器・内分泌・代謝内科学日浅陽一教授から挨拶をいただき閉講となりました。

## 講演1 「胃炎・胃がんとピロリ菌」

座長：済生会西条病院 院長 岡田 眞一

演者：済生会西条病院 統括内科部長 大森 拓朗

## 講演2 「肝炎・肝臓がんの最新治療」

座長：立花病院 院長 井内 英人

演者：松山赤十字病院 副院長 上甲 康二

## 講演3 「肥満と消化器疾患」

座長：済生会西条病院 内科部長 鳥巢 真幹

演者：愛媛大学医学部 消化器・内分泌・代謝内科学 講師 三宅 映己

## 講演4 「消化器がんの外科的治療最前線」

座長：済生会今治病院 院長 松野 剛

演者：済生会西条病院 副院長 石井 博

開催前は市民の皆さまが、どのくらい来ていただけるのか不安でしたが、556名もの参加を得ることができ、病気に対する関心と健康の意識の高さを感じました。当日は休日の午後という貴重なお時間にもかかわらず、ご参加いただきました市民の皆さま、演者及び座長を引き受けてくださいました先生方、また、運営



にご支援とご協力をいただきました関係者の方々に厚くお礼を申し上げます。

# 敬老会にだんじりがキタ～!!

済生会西条老人保健施設いしづち苑 介護福祉士 高津 智一

今年の敬老会は敬老の日の前日9月20日(日曜日)に開催しました。敬老の日に自治会の方々のご協力で



3 屋 台

今年で4回目のだんじり訪問です。毎年、利用者さんも楽しみにしており、今年は恒例の玉津と市場のだんじりに加え、横黒が新たに参加され晴天の中、3屋台の豪華絢爛のだんじりが登場しました。

担ぎ手の「ヨイトサ～」の音が青空に響き、太鼓の振動が胸に響き渡り五感を刺激して心地よい空気が伝わりました。利用者みなさんの顔を見ると笑顔いっぱい!! 手拍子いっぱい!! 涙を流す男性利用者さんもいらっしゃいました。

西条祭りは、10月15日、16日に開催され、10月の西条祭りから始まる「西条カレンダー」があり、「一年は祭りに始まり祭りに終わる」と言うくらい、西条市民に愛されているお祭りです。

今年は利用者さんのご家族だけでなく昨年にも増して地域の方も沢山観に来られ盛大に行うことができました。夕方には地元のニュースやYouTubeにもアップされ関心の高さが伺えました。

その後フロアに戻り手作りメッセージカード、紅白饅頭をお渡しすると利用者さんから「美味しいの～今日は祭りもおやつも豪華じゃの～」と大好評でした。

利用者さんも大変喜ばれ、その姿を見て職員も喜び活気に満ちた一日となりました。

今後も地域の方々にご協力頂き利用者さんの楽しみと笑顔を増やして行きたいと思っております。



伊勢音頭にあわせて手拍子を送る利用者



だんじりの差し上げ